

増設スイッチユニット

品番 WL-SA203



もくじ

はじめに	2
商品概要	2
付属品をご確認ください	2
免責について	2
略称について	2
記号について	2
安全上のご注意	3
設置上のお願い	3
各部の名前	4
音声調整卓への組み込み	4
インターフェースユニットの 音声入力の接続について	6
故障かな!?	6
仕様	6
保証とアフターサービス	7

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

商品概要

本機は、校内放送用の音声調整卓WL-SA200シリーズにスピーカー選択ボタンを増設するためのユニットです。
本機を増設するときは、その増設台数と同じ台数のインターフェースユニットWU-SA205（別売品）の増設も必要になります。

本機1台で10局のスピーカー選択ボタンが増設可能で、増設台数は以下のとおりです。

音声調整卓	増設スイッチユニット (WL-SA203) 増設可能台数
1系統 (10回線) WL-SA211	2台まで
2系統 (10回線) WL-SA222	1台まで
3系統 (10回線) WL-SA233	増設できません

付属品をご確認ください

施工説明書 (本書).....	1冊	保証書.....	1式
接続ケーブル.....	1本	取付ねじ (M3×6).....	3本
チャンネルラベル.....	1枚	PA出力ケーブル.....	1本

免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、運用ができないことなどで被る不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 本商品の不良・不具合以外の事由（取付工事の不備、建屋側取付面の不良などを含む）による落下などによる不便・損害・被害

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- 音声調整卓 (WL-SA211、WL-SA222、WL-SA233：共に別売品) を音声調整卓と表記しています。

記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



：使用上のヒントが書かれています。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
---------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

 工事は販売店に依頼する 工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。 ● 必ず販売店に依頼してください。 ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける 落下によるけがや事故の原因となります。 異常があるときは、すぐ使用をやめる 煙が出る、においがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。 ● 放置せず、直ちに音声調整卓の電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。 取り付けねじはしっかりと締める 落下などでけがの原因となります。 ● 必ず販売店に依頼してください。	 禁止	異物を入れない 水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。 ● 直ちに音声調整卓の電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。 雷のときは工事、配線をしない 火災や感電の原因となります
	 水ぬれ禁止	水をかけたり、ぬらしたりしない 火災や感電の原因となります。 ● 直ちに音声調整卓の電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
	 分解禁止	分解しない、改造しない 火災や感電の原因となります。

設置上のお願ひ

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

本機は屋内専用です

- 屋外での使用はできません。
- 長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

本機に電源スイッチはありません

- 電源を切る場合は、音声調整卓の主電源を「切」にしてください。

工事を始める前に、全機器の電源プラグを抜いてください。

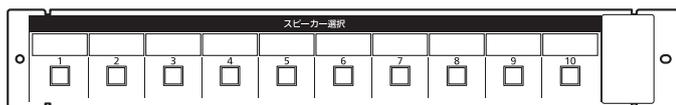
静電気について

- 設置工事時、基板に触れる必要があるときは、静電気による破損を防止するために、次の内容をお守りください。
 - ・ 作業を始める前に、音声調整卓本体部などの金属面に触れ、人体に帯電している静電気を放電してください。

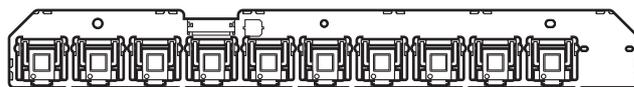
お手入れについて

- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。
- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

各部の名前



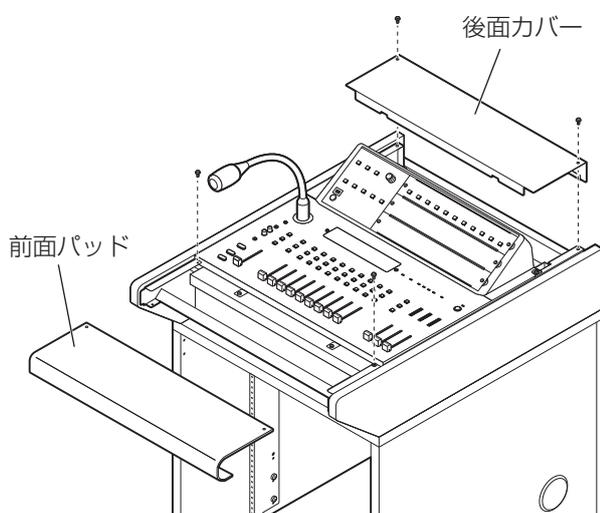
パネル板金



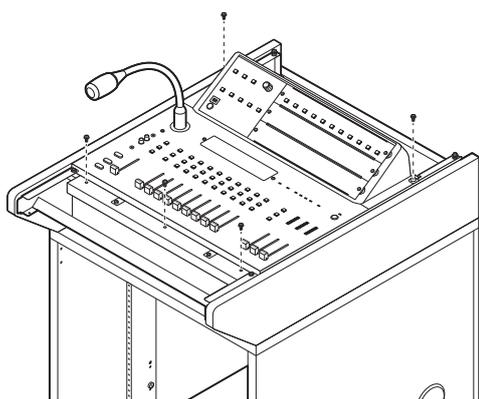
基板

音声調整卓への組み込み

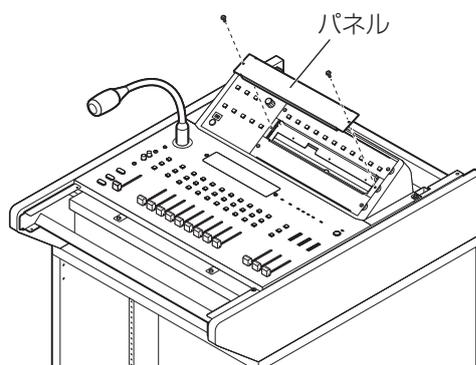
- 1** 音声調整卓の取付ねじを外して、前面パッドと後面カバーを外す。



- 2** 前面パッドの下にあるパネル固定ねじ3本と、後方のパネル固定ねじ2本を外す。

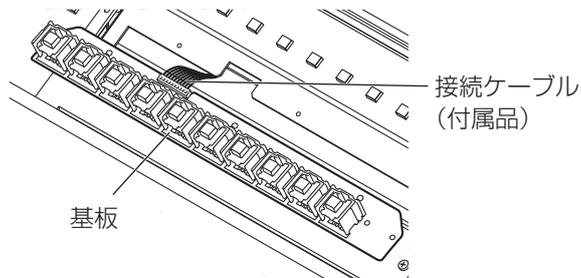


- 3** スイッチユニットのパネルを取り外す。



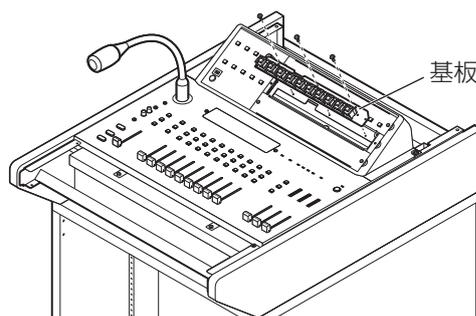
- 4** 本機の基板に付属の接続ケーブルを接続し、音声調整卓の操作パネルに取り付ける。

- 基板取付時に接続ケーブルを板金にはさまないように注意してください。



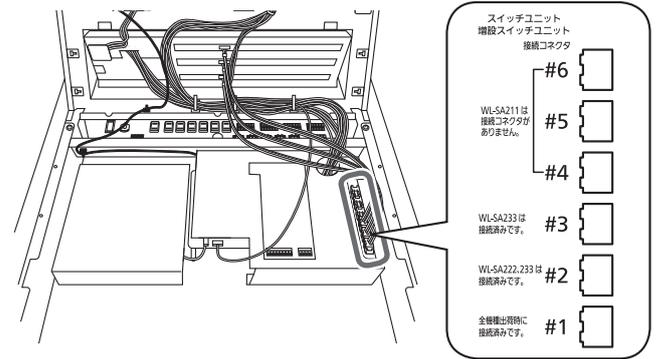
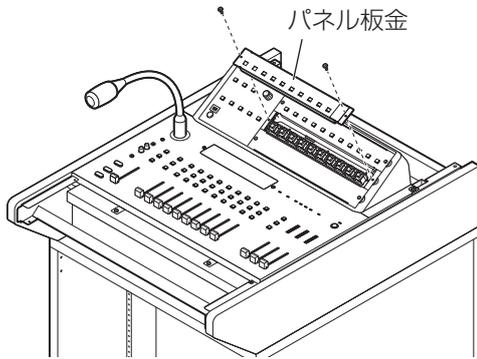
- 5** 基板を付属の取付ねじ3本で固定する。

- 取付ねじは中央⇒右⇒左の順に止めてください。
ねじの締付トルク：0.67 N・m～0.88 N・m
{7 kgf・cm～9 kgf・cm}

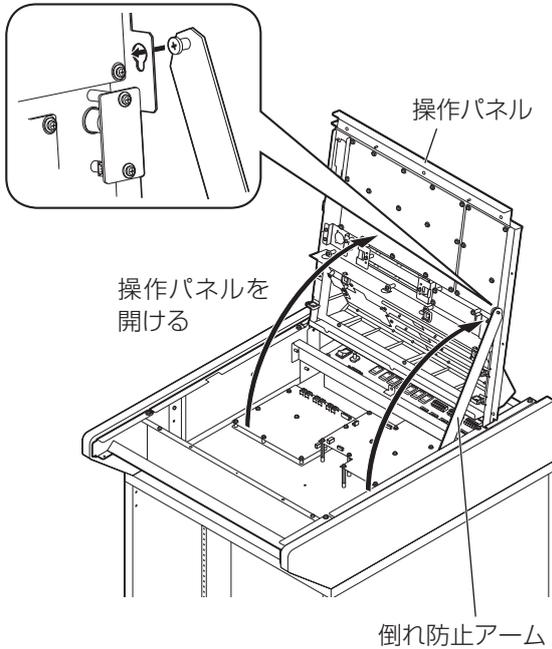


6 本機のパネル板金を取り付ける。

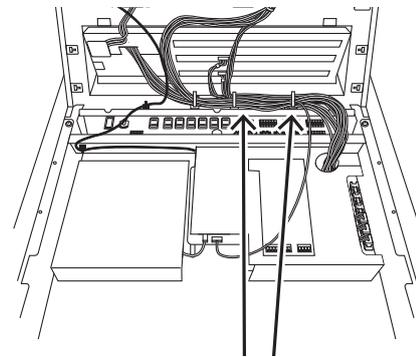
- ねじの締付トルク：0.67 N・m～0.88 N・m
{7 kgf・cm～9 kgf・cm}



7 操作パネルを開け、倒れ防止アームを操作パネル側面側の孔に差し込む。



9 束線クランプ（内部）の上部の隙間から接続ケーブルを入れる。（2か所）



束線クランプ（内部）に接続ケーブルを通す

10 手順1～3の逆の手順で操作パネルを閉じる。

- ねじの締付トルク：1.0 N・m～1.2 N・m
{10 kgf・cm～12 kgf・cm}

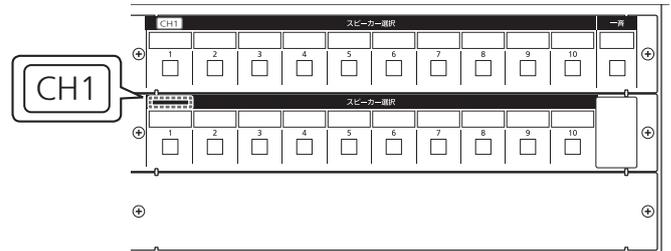
11 本機に増設したシステムのチャンネルラベル（付属品）を貼り付ける。

8 接続ケーブルのもう一方をメイン基板の接続コネクタ#2、または#3に接続する。

- 接続コネクタの接続箇所は下表のとおりです。

接続コネクタ	WL-SA211	WL-SA222
#1	スイッチユニット	スイッチユニットシステム（チャンネル）1
#2	増設スイッチユニット1台目	増設スイッチユニットシステム（チャンネル）1
#3	増設スイッチユニット2台目	スイッチユニット*システム（チャンネル）2

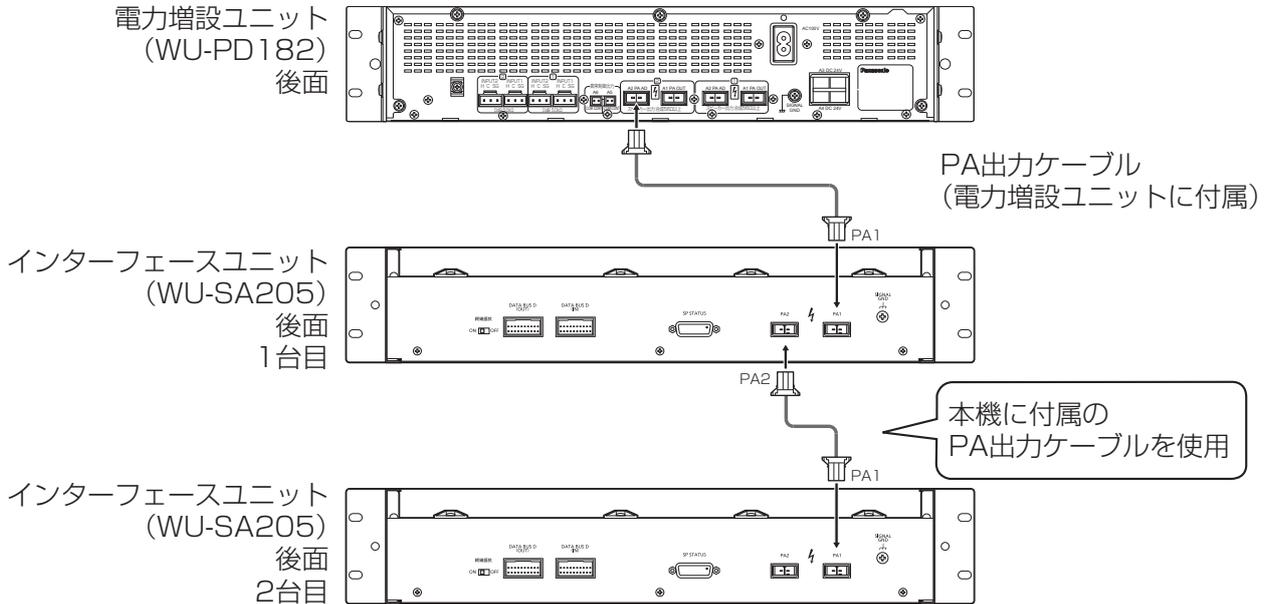
* WL-SA222に増設スイッチユニットを増設するときは、#2に接続されているケーブルを#3に差し換えます。



- 本機を増設したときは、音声調整卓内部のディップスイッチ「増設スイッチパターン」の設定が必要です。詳しくは音声調整卓の取扱説明書をお読みください。

インターフェースユニットの音声入力の接続について

電力増幅ユニットの同じチャンネルに、2台以上のインターフェースユニット（WU-SA205）を接続する場合は、本機に付属のPA出力ケーブルで2台目以降のインターフェースユニットの音声入力を接続してください。



故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
スピーカー選択ボタンを押しても表示灯が点灯しない	● 接続ケーブルが外れていませんか？ → 正しく接続してください。	5
	● 音声調整卓内部のディップスイッチ「増設スイッチパターン」の設定は正しいですか？ → ディップスイッチを正しく設定してください。	—

仕様

基本仕様		
電源	DC5 V (音声調整卓から供給)	
消費電流	150 mA	
寸法	幅 277 mm 高さ 41 mm 奥行き 17.5 mm	
質量	約200 g	
仕上げ	パネル：AVライトグレー塗装 (マンセルN8近似色、日塗ICN-80近似色)	
操作部		
スピーカー選択ボタン	10 (自照式表示灯付)	

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	()	—	
お買い上げ日		年 月 日	

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(6ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず音声調整卓の主電源を「切」にして、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- 製品名 増設スイッチユニット
- 品番 WL-SA203
- 故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

- 技術料** 診断・修理・調整・点検などの費用
- 部品代** 部品および補助材料代
- 出張料** 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、音が出てこない。
- その他の異常・故障がある。

直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バ ナ ハ ヨ イ フ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからのご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号